

小千谷市業務継続計画（BCP）概要版

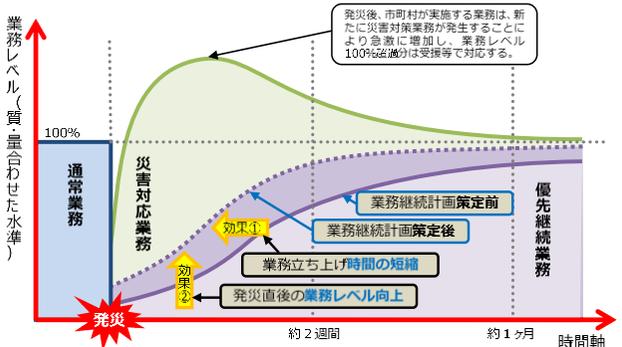
業務継続計画策定の目的

業務継続計画(BCP:Business Continuity Plan)は、大規模な災害発生により行政が被災し、職員の被災等による人的資源の不足や、庁舎の被災により物的資源が制約を受ける状況にあっても、平時より実施している市民の生命・身体の安全、重要資産の保全など、**休止することのできない業務(非常時優先業務)**を特定し、**業務実施のために必要な方針や方法、事前の対策の検討を行うもの**です。

中越大震災の被害状況を想定として、必要な資源の確保及び配分等の方策を計画として定め、行政機能の継続性の確保と早期の行政機能の回復を図ります。

策定の効果

- (1)業務立上げ時間の短縮や発災直後の業務レベルの向上により、業務の効率的かつ迅速な再開が可能になります。
- (2)業務継続計画の策定を通じ、平常時から災害時の課題をリスクとして認識することで、防災力を強化することが可能になります。
- (3)業務の迅速な再開により、災害時における市民生活への影響を抑えることが可能となります。

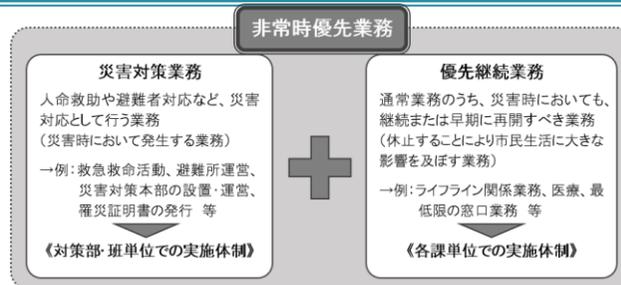


計画の基本的な考え方

○基本方針

- ①市民の生命、身体、財産を保護し、被害を最小限にとどめるため、災害対策業務に万全を尽くします。
- ②限られた人的・物的資源に対して、全庁で資源を再分配します。
- ③職員一人ひとりが非常時優先業務の共通認識を行い、災害時に適切に対応できるよう災害対応能力の強化に努めます

非常時優先業務の対象と実施の目安



災害時には一部の通常業務を停止します。

非常時優先業務の例

発災後	業務の考え方	選定業務例
~3時間	生命・身体を守る業務	災害対策本部の設置 救援・救助活動 避難所の開設 被害状況収集 市民への情報提供 医療救護活動
~24時間	二次被害の防止や避難生活に係る業務	避難生活支援 給水・食料・物資の供給 仮設トイレの設置 応援要請
~3日	被災者支援や重大な行政機能回復に係る業務	ライフライン・公共施設の応急復旧 し尿・災害がれき処理 遺体の安置、火葬

職員が不足する時間帯があったり、物資供給が不足したりします。避難所運営の協力や物資備蓄など、共助・自助の協力をお願いします。

業務継続のための環境整備

非常時優先業務の円滑な遂行のためには、不足する人的資源や物的資源を確保する必要があります。

項目	対策項目	対策内容
人的資源の確保対策	災害対応人員の確保	職員の安否確認 被災程度、実施業務の重要度を考慮した人員計画の立案 各部課をまたいだ配分調整 他市町村への応援要請
	指揮監督権及び職務代理	職務代行対象者 市長 → 第一順位 副市長 → 第二順位 教育長 → 第三順位 総務課長
物的資源の確保対策	庁舎	市役所本庁舎の免震化 代替対応拠点候補の選定
	通信手段	複数の通信手段の整備 通信事業者・メンテナンス業者との情報連絡体制の確保
	情報システム	無停電電源装置の配備 自家発電からの電力供給 データの遠隔地でのバックアップ 緊急時バックアップの保持 故障時の予備の保管
	電力・燃料	市役所本庁舎での非常用発電機の整備 代替対応拠点候補出の発電機の整備
	職員の食料等の確保	職員の1日3食分の食糧を備蓄 不足分は民間事業所からの供給を手配

問合せ：小千谷市危機管理課(TEL:0258-83-3515)